

## 令和4年度小松島市重要事業実施に伴う政策等の形成過程説明シート

<b>事務事業名</b>	<b>図書館運営事業</b>			整理番号	— —
				担当課係	図書館
<b>事業予算費目</b>	款	10	教育費	記入者職・氏名	
	項	5	社会教育費	内線等	32-1100
	目	5	生涯学習センター費	事業区分	経常事業
	大事業	3	図書館運営事業	事業期間	令和 年 ~ 年度
事業の実施主体	市（委託・補助事業含む）				
根拠法令等	図書館法、生涯学習センター小松島市立図書館設置条例、同施行規則				

**■事業の概要・全体計画等（政策の発生源、提案に至るまでの理由）**

平成4年度開館以降、図書館法や設置条例、規則などに基づき、市民及び利用者が各々の目的に応じて求める図書資料などを整備し、その利用を供するとともに、読み聞かせ等の事業を行い、本市の生涯学習の拠点としての機能を果たしていけるよう取り組むもの。

<b>事業の内容</b>	手段（計画している主な活動の内容、手段、手順）				
	利用者のニーズに合った図書資料を集めることにより、読書環境を整備するとともに、図書館施設を安全で快適に利用してもらえるように、図書館内設備などの適切な維持管理を行うもの。なお、図書購入費については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(50万円)を活用し、在宅時間充実対策として、新刊図書等の購入に取り組む。				
<b>事業の目的</b>	読書に親しまれるよう読書活動の振興を図り、地域の情報拠点としての役割を果たすことを目的とする。				

**■総合計画(後期基本計画)との整合性**

事業目的が総合計画(後期基本計画)上の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> いる	総合計画(後期基本計画)上の位置付け	基本目標	2. 心豊かなひとづくり
	<input type="checkbox"/> いない		大項目	① ひとりひとりが輝けるまちづくり
			中項目	2-2社会教育の推進
			小項目	社会教育の充実

(理由)

総合計画における生涯学習の推進として、生涯学習センター市立図書館を拠点施設として位置づけ、市民のニーズに沿いながら図書の充実、資料の収集・整備を行うこととしている。

**■他の自治体の類似する政策との比較検討**

他の自治体と比較した場合、本市の図書購入費は少ない状況であり、利用者からは新刊図書の充実を求める声が多く寄せられている。なお、本市にない図書に関しては、県立図書館をはじめ県内図書館と連携し、相互貸借を行い利用者の要望に沿えるよう取り組んでいる。

■市民参加の実施の有無とその内容 (有・無) ○を入れてください。

事業の対象	対象(誰、何を対象にしているのか)
	市民をはじめ、市内に通勤・通学するもの及び近隣市町(徳島市・阿南市・勝浦町)在住のもの
事業の意図	意図(事業の狙いはなにか、対象をどう変えるのか)
	市民などのニーズに合わせ、図書を購入・資料の収集などによる読書環境の充実に取り組み、生涯学習の推進を図るもの
事業に対する関係者から要望等意見はどのようなものが寄せられているか	(市民、議会、事業対象者、意識調査等事業関係者からどのような意見・要望があるか)
	利用者からは、新刊図書の充実を求める声が多い。
事業を取り巻く状況等は、今後どう変化しますか?	(社会状況、根拠法令、規制緩和、周辺の状況等は今後どのように変化していくか)
	今後、デジタル化が進んでいく中での、電子図書導入の検討や新型コロナ禍による生活様式の変化への対応等、様々な視点で研究していかなければならない。

■事務事業に係るコスト・財源措置・将来に渡るコスト計算、有効性について

		全体計画	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度以降	最終年度	
全体コスト	財源内訳	国 県 支 出 金	500	500				
		地 方 債	0					
		その他(利用者負担等)	0					
		一 般 財 源	23,870	4,374	4,874	4,874	4,874	4,874
	A 直接事業費(千円)	24,370	4,874	4,874	4,874	4,874	4,874	
	人件費	正 規 職 員 数	1.00 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人
		職 員 人 件 費 ①	16,285	3,257	3,257	3,257	3,257	3,257
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 数	12.00 人	2.40 人	2.40 人	2.40 人	2.40 人	2.40 人
		臨 時 ・ 嘱 託 職 員 の 費 金 等 ②	19,930	3,986	3,986	3,986	3,986	3,986
	B 人件費計(千円)①+②	36,215	7,243	7,243	7,243	7,243	7,243	
A + B	60,585	12,117	12,117	12,117	12,117	12,117		

有効性について	① この事務事業を行わない場合の影響はありますか?	<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> a ない	理由	生涯学習の拠点としての図書館運営に関する事業であり、本市の社会教育全般に多大な影響を及ぼすことになるため、事業実施は必要である。
	② 類似事業との整理統合はできないか?	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> a できる	理由	類似事業はないと思われる。
	③ 成果をさらに向上させる余地はありますか?	<input type="radio"/> ない <input checked="" type="radio"/> a ある	理由	利用者のニーズ把握に努めつつ、先進地事例なども参考に、改善を図っていく必要があると考えている。

◎改善・効率化・見直しの方向性 ※上記において a を選択した場合、必ず記入してください。

有効性	①	
	②	
	③	新刊図書を充実させ、展示の工夫等環境整備をすることにより、利用者増加につながっていく。

所属長による総合的なコメント

図書の充実を多くの方々から求められており、その要望に沿うよう創意工夫して取り組んでいく。